

選定理由書

種目	中学校		国語
発行者番号	2	発行者略称	東書
調査研究観点			
観点1 教科共通の観点 <<観点項目>> (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統のかつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 <<観点項目>> (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④文学的文章(小説・詩歌等)とその表現(書く)に関する教材が、適切かつ充実している。 ⑤説明的文章(論説・評論等)とその表現(話す・聞く、書く)に関する教材が、適切かつ充実している。 ⑥古典・言葉(文法・語句・漢字等)に関する教材が、適切かつ充実している。 観点3 形式について <<観点項目>> (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由			
【観点1】 各単元で「見通す」「つかむ」「読み深める」「考えを持つ」「振り返る」の流れが提示され、生徒が主体的に学習を進めることができる工夫がされている。 巻頭に「未来への扉」で、「科学と探求」「安全・防災」「情報社会」「多様性」「伝統と文化」「地球環境」「平和・国際理解」「自己と他者」「学校・社会」の9つのテーマが示され、学習を通して様々な視点で考えることができる。 多様なジャンルの文学作品、広い世界に目を向ける説明文、協働での言語活動が充実しており、情操を養うことができる。 各領域において3年間を通した系統性を持って目標が立てられ、「言葉の力」が配列されている。また、他教科との関連が、教科関連マークでわかりやすい。 【観点2】 各教材の目標に併せて、生徒目線での問いかけが書かれており、何に着目して学習するのかがわかりやすい。 偏りなく全体の調和がとれている。 掲載作品に関連する様々な資料が掲載されており、デジタルコンテンツが充実している。また、教科書の活動例に即した動画など、動画解説が豊富である。 今日的なテーマ、普遍的なテーマ、年代的なテーマ等、充実した教材ラインナップである。また、読みの学びを生かした表現教材への流れもスムーズである。 「言葉の力」に図解が用いられ、学習のポイントが視覚的に理解しやすい。話す・聞く、書くの教材では、過程から完成の具体例がわかりやすい。 古典教材では、折り込みで、あらすじや歴史的背景が掲載され、理解・鑑賞に役立てられる。古典のデジタルコンテンツも豊富である。「文法の窓」ではゲーム仕立てで学習に親しむことができ、「文法解説」で体系的に整理することができる。「日本語探検」はストーリー仕立てで、語句の学習に親しみやすい。 【観点3】 全体的に読みやすい文字の大きさである。1年生の最初の文字がひとまわり大きくしてある工夫がされている。 落ち着いたトーンで統一されている。色の違いで区別する際、マークなど色以外の要素でも区別されている。			
以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校 社会（地理的分野）		
発行者番号	46	発行者略称	帝国
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 ＜観点項目＞ （1）学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 （2）県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 ＜観点項目＞ （1）概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 （2）教科内容 ④社会的事象に関心を持って多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養うことができる内容となっている。 ⑤地域の変化や特色を背景に現代社会を学ぶことができるよう工夫されている。 ⑥社会的事象に関する調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけられるよう配慮がなされている。 観点3 形式について ＜観点項目＞ （1）内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト （2）外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 「アクティブ地理」を設け、対話を通して課題に粘り強く向き合う姿勢や、他者との意見交換を通して合意形成を目指す態度を身につけられる。また、単元を貫く「章・節の問い」から、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」を考えていく中で、単元の最後の「学習を振り返ろう」で自らの考えを表現できるように、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように工夫されている。 地理的な見方・考え方を働かせる「見方・考え方アイコン」を示し単元の振り返り、見方・考え方を働かせながら学習を進めることができる。 章・節の問いが設けられ、習得した知識・技能を活用した思考・判断・表現を評価できるようにしている。また、単元を通した見通しと振り返りで自らの学びを調整し、粘り強く取り組む主体的に学習に取り組む態度を見取ることができる。 小学校・歴史・公民・他教科との関連を示すアイコンが設けられている。 【観点2】 比較や位置関係の把握などの地理的な見方・考え方を働かせることができる写真を多く掲載しており、生徒の興味・関心を喚起する工夫がされている。 個別最適な学びを支援することができる学習内容を定着させるコンテンツや学習内容を深化させるコンテンツが収録されている。 巻頭で考えを整理する思考ツールが掲載されており、さらに節の振り返りでも思考ツールを使って考えをまとめるページがあり、多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。 巻頭で、SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標とその実現に向けた世界と日本の取組が掲載されている。さらに地域的・地球的課題の解決に取り組む視点を養う「未来に向けて」が設置されており、各地の取組からよりよい未来を構想するための工夫がされている。 日本の諸地域の学習では、各地方の注目する視点が設けられ、着実に国土理解することができる工夫がされている。 【観点3】 UDフォントが使用され、誤読を防ぐ配慮がなされている。 どこまでが同一の資料か判別しやすいように図の周囲をグレーで囲む工夫がされている。さらに用語の解説が側注欄に設けられており、理解の助けとなる。また、文章だけでは理解しづらい用語には、図解や写真が添えられており、視覚的に理解が深まるように工夫されている。 見えやすい色づかいに配慮するカラーユニバーサルデザインで編修されている。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校 社会（歴史的分野）		
発行者番号	46	発行者略称	帝国
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 ＜観点項目＞ (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 ＜観点項目＞ (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④社会的事象に関心を持って多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養うことができる内容となっている。 ⑤地域の変化や特色を背景に現代社会を学ぶことができるよう工夫されている。 ⑥社会的事象に関する調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べとめる技能を身につけられるよう配慮がなされている。 観点3 形式について ＜観点項目＞ (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 3分野共通の構成になっている。「問い」を軸にした単元構成の構造化によって「主体的で対話的な深い学び」と「指導と評価の一体化」が実現されている。また、新設された「アクティブ歴史」では、対話を通して課題に粘り強く向き合う姿勢や論点の整理→自分なりの考察→話し合いのステップで、段階的に自分の考えを深めていく中で、「主体的・対話的で深い学び」が実現できる内容となっている。 歴史的な見方・考え方を働かせるのに適した写真資料が78カ所に掲載されている。 未来の社会を作るための教訓となる人々の取り組みを紹介するコラムが63カ所に設置されており、よりよい未来を構想できるヒントがちりばめられている。 各単元には「章の問い」「節の問い」「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設定されており、役割と関連が明確にされているため3つの資質能力を着実に育成することができる。 他教科や小学校での学習など関連ある題材がアイコンとして用意されている。物事を多面的・多角的に捉える手立てとなる。 【観点2】 「歴史的な見方・考え方」を働かせた考察ができるよう巻頭8では具体的な事例を示しながら、端的にわかりやすく説明がされている。「時代」「推移」「比較」「相互関連」の4つに分類されている。 内容の構成・配列のバランスが適切である。「指導と評価の一体化」を実現する適切な単元構成がなされている。 教科書の目次や中面の随所に二次元コードがちりばめられており、用語解説や確認クイズなど、より学びを深められる工夫がされている。 人物コラムが49名紹介されている。また、本文と関連付けながらさまざまな視点から歴史を見ることができる「地域史」が11テーマ取り上げられている。 各章末では「これからの社会を構想しよう」が設けられ、各時代の特色と現代社会の諸問題を関連付ける活動ができる。 各章末では思考ツールが多用されている。また、「技能をみがく」では資料や図表の見方といった基礎的、基本的な技能を習得できる内容となっている。 【観点3】 教科書本文には、読み間違えにくくわかりやすいUDフォントを使用している。 学習内容が定着するよう「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一され構造化されている。 カラーユニバーサルデザインに配慮された見やすくわかりやすい色調で、誰もが見やすい色使いや境界線を黒ではっきりと書くなど配慮がされている。 本文では、「時代や年表」「推移」「比較」「相互の関連」といった歴史的な見方・考え方を働かせた考察ができるよう、レイアウトに工夫がされている。 AB判336頁で構成され、写真や図表などが大判で見やすく豊富に掲載されている。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校		地図
発行者番号	46	発行者略称	帝国
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 「観点項目」 (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2)県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 「観点項目」 (1)概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2)教科内容 ④社会的事象に関心を持って多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養うことができる内容となっている。 ⑤地域の変化や特色を背景に現代社会を学ぶことができるよう工夫されている。 ⑥社会的事象に関する調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけられるよう配慮がなされている。 観点3 形式について 「観点項目」 (1)内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2)外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 地図帳の使い方を段階を追って解説するページを設け、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 問い「地図で発見!」(全156問)が設置されており、地図の読み取りによる地理的技能習得だけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習活動に活用できるものとなっている。(地図帳P49、104、159など) 環境問題や持続可能な開発目標(SDGs)の観点、防災や人権・平和教育に活用できる資料図が掲載されており、他教科でも活用可能なものとなっている。 神戸市付近の地震災害の備えのページを設け防災意識を高められるように工夫されている。 【観点2】 主体的に学習に取り組むことができるように「地図で発見!」を設置し、社会的な見方・考え方を働かせる問いを中心に構成されている。 地図・資料図のタイトル横に、「歴史アイコン」(全31か所)や「公民アイコン」(全15か所)を設置し、地理的分野だけでなく、歴史的分野・公民的分野の学習でも活用できる資料が盛り込まれている。 個別最適な学びを支援するために、学習内容の習得や調べ学習を支援する二次元コードが多く掲載されている。 地図・資料図のタイトル横に「SDGsアイコン」を設置し、持続可能な社会の実現に向けて考察できるように工夫されている。 模式図による図解で領域に関する用語の意味の理解が促されるように工夫されている。 【観点3】 地図中の地名の漢字には、すべてふりがなが付けられており、正しく読めるよう配慮されている。 地図やグラフの色づかいを判別しやすいようにカラーユニバーサルデザインを採用している。 タイトルやページ番号、インデックスの位置を原則固定することでレイアウトの統一を図っている。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校 数学		
発行者番号	104	発行者略称	数研
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 《観点項目》 (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2)県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 《観点項目》 (1)概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2)教科内容 ④デジタルコンテンツの充実、使いやすさ ⑤自由進度学習等の多様な学習方法において、タブレットPCを活用した学習の進めやすさ ⑥個別最適な学びの実現に向け、個の特性や興味・関心に応じた指導・学習ができるように配慮されている。 観点3 形式について 《観点項目》 (1)内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2)外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 通常の問いに加えて、更に発展した問いが載っており単純な問題だけでなく、より深い学習へつながる。また、各単元の「学んだことを活用しよう」では、主体的・対話的で深い学びにつながる探究学習ができる工夫がされている。 単元末の「活用しよう」や「考えよう」では発展的な内容となっており、身につけた知識を使うことや説明する力をつける工夫がされている。また、「Link探究」には、ワークシートを用いて探究活動ができるようになっている。 各単元の直前に振り返りとして、算数や前学年の復習ができるようになっており、高等学校（数学A）のつながりがみられる内容も盛り込まれている。また、英語、理科、社会などの他教科につながる題材の取り扱いもある。 姫路城や猪名川花火大会、竹田城等、地域にまつわる話題も多く、「ひょうご教育創造プラン」基本方針Ⅰ(2)②「ふるさと意識を醸成する教育の推進」を踏まえている。また、「聞いてみよう!」のページでは、基本方針Ⅰ(4)①兵庫型「キャリア教育」の推進を踏まえている。。 【観点2】 提示されたQ（課題）の考え方として、「問いかけ」や「対話形式」での考え方が示され、問題解決のプロセス部分に焦点があたり、既習事項の活用など、数学的な活動や思考へと自然に導ける工夫がされている。 特定の分野に偏ることなく調和がとれ、数学4領域において、習得・活用・探究といった学習内容や課題について、バランスよく構成されている。巻末の自己評価、学び合いの評価など工夫がされ、学びの振り返りができるようになっている。 二次元コードは、使用するページごとに配置されている。また、項目ごとに「補充」「イメージ」「資料」など区別されており学習時に使用しやすい。 「Link探究」のコンテンツを利用すると、他の視点からの見方がわかるなど、創造できる指導コンテンツがある。 関数分野におけるコンテンツが式とグラフの関係をとらえられるようにわかりやすく工夫されている。また、コンテンツ内で演習問題にも取り組むことができるように工夫されており、基礎基本問題、解答が二次元コードで読み取って行うことができる。さらに、単元を横断した問題に取り組むこともでき、個別学習や自宅学習にも充分対応可能である。 ほとんどの例題について、解説動画のコンテンツを視聴でき、生徒の理解のペースにあわせて学習を進めることができる。また、「入試問題にチャレンジ」のコンテンツがあり、それぞれ個人に合わせた学習に取り組みやすくさせている。 他学年のコンテンツも利用でき、振り返りやさらに学習を進めたい生徒が利用できるよう工夫がされている。また、コンテンツを利用して、単元を横断した問題にもチャレンジでき、目標を持って学びを進めることができるよう配慮されている。 【観点3】 UDフォントを使用し、大きさも適切で読みやすい。 各単元の前に「ふりかえり」というページがあり、小学校時や1年時の学習の復習ができるよう工夫されている。 刺激の少ない配色で、十分な余白もあり、読みやすい。 大きい図やマークなどが用いられており、見やすいレイアウトになっている。また、作図やグラフなどが教科書に書き込みやすい。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校		理科
発行者番号	61	発行者略称	啓林館

調査研究観点

観点1 教科共通の観点

<<観点項目>>

(1)学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について

①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。

②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。

③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。

④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。

⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。

(2)県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について

⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。

観点2 教科固有の観点

<<観点項目>>

(1)概要

①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。

②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。

③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。

(2)教科内容

④観察・実験の予想、計画が明確で、身近なもので観察・実験ができ、方法もわかりやすく、結果が導きやすい。

⑤理科の見方・考え方が、生徒の学びの課程において、振り返り、考察できる内容になっている。

⑥実験や観察における安全性への配慮があり、且つ主体的に取り組めるよう工夫されている。

観点3 形式について

<<観点項目>>

(1)内観

①本文文字の字体や大きさ

②資料の構成

③配色

④レイアウト

(2)外観

⑤判型、頁数及び別冊の有無

選定理由

【観点1】

単元の始めと終わりに設置されている「学ぶ前にトライ」と「学んだ後にトライ」を合わせることで、生徒が学習による変容を実感できるように工夫されている。巻末にある探Qシートでは、実験前に他者との意見を参考に自分の考えを検討する構成となっている。

巻末にある探Qシートでは、課題の後に仮説を根拠を含めて記載する欄があり、仮説を確かめるための手段としての実験の位置づけを明確にしている。

「～ラボ」という名称の科学コラムが配置されており、科学が生活の場面で活用されている例が多く紹介されている。

生徒自身の身近な生活から湧き上がる疑問を自ら解決していきたくなるような写真、二次元コードを使った動画や、振り返りシート、練習問題などが組み込まれている。

科学的な見地から自然災害、病気が起きる仕組みに触れ、防災や医療に携わる人や団体などの存在が詳しく説明されている。

1年生の地学分野では、丹波竜や三葉虫などの化石写真、三木市の兵庫県広域防災センターが扱われている。他学年においても導入や展開の場面で扱われており、ふるさと意識を醸成する上で有効である。

【観点2】

各学年の冒頭部分において、中学校理科の学習で働かせる見方・考え方が導入として提示されている。また、キャラクターの発言などを利用してヒントが与えられており、生徒が自発的に考えることができるようになっている。

内容により、分量やページ数に偏りがなく充実した内容となっている。

豊富なデジタルコンテンツを提示しており、各単元で利用できるようになっている。シミュレーション実験等、操作できるコンテンツも用意されている。

実験後に身近なものについて調べるように導かれているとともに、必要に応じて仮説を立てる場面が的確に配置されている。

振り返りが必ず記載されており、結果をもとに科学的事実に基づいて判断し、考察ができるようになっている。

実験の注意がページの最上部に記載され、確認しやすく、事故防止に役立っている。探Qシート付きの探Q実験は、興味深い内容が多く、自主的に取り組んでみたくなる工夫がされている。

【観点3】

文字の大きさは適度である。UDフォントで見やすくするための工夫がなされている。注釈やイラスト内の会話文などで変化があり、わかりやすい。

重要語句、学習課題など用途に応じてわかりやすく区別されている。また、字間・行間なども読みやすさを考慮して設定されている。

色覚特性への配慮としてイラストの色の組み合わせに工夫が施されている。また、図や写真の配色についても、鮮明で非常に見やすい。

AB判仕様で少し重量はあるが、本文と写真やグラフ・表などがフォントやフォントサイズに差をつけて掲載されているため、見やすい。

巻末に「探Qシート」がついており、学びを深めるための工夫がなされている。実験の都度切り離して記入し、提出できるように工夫がされている。

以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。

選定理由書

種目	中学校 音楽（一般）		
発行者番号	27	発行者略称	教芸
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 《観点項目》 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 《観点項目》 (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④我が国や郷土の伝統文化ならびに諸外国の文化の良さを感じるとともに、自国文化に愛着を持つことができるような内容になっている。 ⑤生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての関わりや理解が深められるような内容になっている。 ⑥生涯教育を意識し、学校教育を離れてからも引き続き音楽を学び楽しむ姿勢を育むような興味付けができる内容になっている。 観点3 形式について 《観点項目》 (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 歌唱・作曲・創作のすべての分野で書き込み教材がついているので、自分の考えを整理しながら学習を進められる。教材の端に音楽記号の説明ページ番号が記されていて、主体的に疑問を解決しながら学習を進められる。また、簡潔な楽曲の紹介文や具体的な目標を提示する項が多く、1年間の学習を見通した活動ができる工夫がある。さらに、二次元コードからワークシートをダウンロードして、生徒同士で共有したり、身についた力でプレゼンテーションすることができる。 表を用いるなど楽曲の特徴が整理できるよう配慮されており、表現しながら考えを深められるよう工夫されている。二次元コードによるデジタルコンテンツに関連資料も多く、その曲だけでなく関連することを自ら学ぶことができる。 巻頭絵の現在活躍中の芸術家のメッセージが生徒の興味・関心を惹き、音楽を愛好しようとする一歩につながっている。また、教材も生徒の心情や感覚に近い曲や人が取り上げられ、自然な形で親しむことができるよう工夫されているなど、豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容になっている。掲載曲の歌詞は、道徳・人権に配慮されたもので、個性を生かしながら、多様な価値観を尊重できるものとなっている。 歌唱教材において詩の理解につながるような注釈や新出の音楽記号についての明記があり、ポイントを押さえた学習がしやすい。また、「学びのコンパス」を活用することにより、思考・判断力が深まり表現力が高まる。 他教科(外国語:外国語の歌、社会:世界の音楽・曲の特徴と風土・日本の音楽と時代背景、技術:著作権、国語:俳句を用いた創作)との関連や、多様な他者を価値ある存在として尊重、協働していくことができるように道徳・人権教育に配慮した教材(「涙そうそう」や「上を向いて歩こう」「やさしさに包まれたなら」などのポップスは命の学習や生き方の学習、「花の街」は平和学習、「花は咲く」は防災学習。)が盛り込まれている。小学校における学習の実態と中学校における発達段階に応じた内容となっている。 震災復興に関わる曲や自分の町を想う気持ちを歌った曲、兵庫県の民謡「でかんしょ節」が掲載されており、地域ならではの曲に関心を持ち継承するに適している。 【観点2】 音楽を形作っている要素が各単元に明示されており、音楽的な見方・考え方を働かせ学習を深められるように工夫されている。それぞれの教材において、学習目標が明記されており学習のポイントがつかみやすい。複数の曲の中から個々の興味・関心に応じて選択し、それぞれの音楽の特徴を捉え、他の音楽を比較したり関連付けたりするなどして、それぞれの音楽の共通性や固有性を理解できるようになっている。 1年生ではシンプルな構成の「主人は冷たい土の中に」を、2年生では、カンツォーネ「サンタルチア」やゴスペル「Joyful Joyful」を、3年生ではロック「Hey Jude」といった、各学年の発達段階に即した内容がバランスよく構成されている。歌唱共通教材は「日本の歌、みんなの歌」と明記され、写真資料や解説も多く理解しやすい形になっている。難易度や変声を考慮した配列となっており、学習指導要領に示す内容がバランスよく構成されている。 3年間を通して音楽と向き合い、主体的に考えられるものとなっている。 ほとんどの教材に二次元コードによるデジタルコンテンツが設けられており、ワークシートを共有した学習、音源や解説を活用した学習等、ICTの活用により学習が深められる。また、伴奏音源も取得でき、個人練習がしやすい工夫がなされている。 各学年で我が国の伝統文化(雅楽や歌舞伎、文楽、能)についてわかりやすく説明され、内容も充実していて、自国の文化に愛着を持つことができる。諸外国の文化とのバランスも良い。また、自分の住む地域の文化に親しむことができるよう、各地に伝わる民謡をはじめ、祭や芸能が掲載されている。 共通教材で取り上げられている歌唱教材も、写真や説明など興味がわくような内容になっている。 どの学年においても「イメージと音楽」「ルールを守って音楽を楽しもう!」「生活や社会の中の音や音楽」という単元が盛り込まれ、日常生活における音楽の役割や音楽文化について学ぶことができる内容になっている。身近な現代の音楽についてもわかりやすく説明していて、愛着が持てる内容となっている。SDGsにもふれられており、音楽に関わる仕事や、社会の中で文化や教育や暮らしを支える役割を担っていることも学習できる。 実生活の中で果たす音楽の役割にふれられており、学ぶことの意義や目的が明確な内容になっている。日本の民謡や祭り、伝統音楽、世界のさまざまな音楽、そして、いろいろなミュージカルの紹介、社会を映し出す音楽、海外と日本のポピュラー音楽の発展についてなど、テーマに基づいてかなり詳しく記述されており、学校で学んだことをもとに、学校を離れてからも、生涯を通じて、自分で学習したり、経験したり、実践して楽しんだりしていけるような内容になっている。 【観点3】 ユニバーサルデザインに配慮し、ポイントの指示、フォントの使い分けによる工夫がある。また、3番以上の歌詞には偶数行を太くするゴシック体にするなどの工夫がなされている。中学生の発達段階に応じた適切な構成となっている。 「学習目標」「活動文」「音楽の要素」などが一目で分かるように示されている。曲を理解したり、作業を進めたりするうえで適切な写真や資料が多く、視覚的にも理解しやすく、生徒が曲の描写を捉えやすい。表紙には主体的に音楽に向き合い、取り組む姿が表現されていて、その親しむ姿勢を育むように配慮されている。 淡い色を中心に使われており、色に統一感があり目に優しい。刺激も少ないので大変見やすい。写真やイラストは美しくわかりやすい。鑑賞教材で重要な旋律(主題)については、色付けがされ、視覚的に捉えやすい。また楽譜の黒色が光らないように工夫されている。 写真や図版が学習内容に応じて、生徒の興味・関心を引き出す内容となっている。資料写真の位置が読譜に邪魔にならない工夫がされていて、曲の描写を生徒がとらえやすくなっている。全教材名の下に、学習目標が書かれており、見通しを持ち学習を進めることができる。レイアウトや囲み文字の形を工夫することで、どのページを見ても学習目標や考えたいポイントなどがすぐにわかる構成になっている。 横幅Aサイズになっており、幅広く資料や楽譜見やすく使いやすい。また、頁数も適度な量で、歌唱の時など持ちやすく使いやすい。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校 音楽（器楽）		
発行者番号	27	発行者略称	教芸
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 ≪観点項目≫ (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2)県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 ≪観点項目≫ (1)概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2)教科内容 ④我が国や郷土の伝統文化ならびに諸外国の文化の良さを感じるとともに、自国文化に愛着を持つことができるような内容になっている。 ⑤生徒が様々な器楽表現を試しながら創意工夫し、奏法、身体の使い方などの技能を身につけられる内容になっている。 ⑥多様な生徒のニーズに応じた器楽活動が可能な教材になっている。 観点3 形式について ≪観点項目≫ (1)内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2)外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 「喜びの歌」「ふるさと」「春」「ブルタバ」は、歌唱・鑑賞教材と関連付けて取り組んだり、「聖者の行進」「きらきら星」「大きな古時計」「笑点のテーマ」「海に見える街」「美女と野獣」「千の風になって」「ア ホール ニュー ワールド」など生徒がよく知っている練習曲を用いたりすることで、主体的で深い学びにつなげることができる。「学びのコンパス」や「問いかけ」といったワンポイントアドバイスが掲載されており、曲に対する自分の考えをもち、友達との意見交流を通して器楽の学習を深めることができる内容になっている。また、グループによる演奏でパートの役割を考えたり楽器の工夫をしたりして協働学習に取り組むことができる。 「バンドの世界をのぞいてみよう」「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」は、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができる内容となっている。アンサンブル作品では、「学びのコンパス」を使って、対話的・協働的に作品を作り上げることができる。巻頭に様々な角度から音楽をとらえ、自ら考えるような内容が掲載されている。後半の曲には「考えたいポイント」が示されており、その内容を意識することでより良い演奏につなげることができる。 興味・関心が広がるように、MONGOL800のバンドスコアや、和楽器と洋楽のコラボ、同世代による和楽器を使用した音楽活動など、表現の幅広さを学ぶことができるようになっている。また巻頭のドラマーや批評家のメッセージは、奥の深い内容で、豊かな心や創造性、人間性の涵養につなげることができる。和楽器の奏法だけでなく姿勢や礼儀のコラム、奏者からのメッセージも、心の育成、我が国の伝統的な文化の理解を促している。ソプラノリコーダーの譜例もあり、小学校における学習内容との系統性が示されている。「春」「ブルタバ」「寄せの合方」「荒城の月」は鑑賞や歌唱教材とリンクしており、「フィンランディア」「ブルタバ」は、わくわくオーケストラ教室でも鑑賞する作品で、インプットからアウトプットへの活動となっている。作曲の歴史的背景など社会的な内容と関連させられる。 【観点2】 楽器の名称や持ち方、奏法などの写真やイラスト、説明がわかりやすい。特に、リコーダーの運指表や楽器の奏法の説明がわかりやすく、音楽的な見方、考え方を働かせる工夫がなされている。 演奏が想定される打楽器についての説明や、楽器の図鑑が掲載されており、中学校で学習する楽器を写真で確認できる。リコーダーでは、無理のない音域を使いながら、幅広いジャンルの選曲になっている。 二次元コードによるデジタルコンテンツがついており、実際に楽器の演奏を試聴することで、よりイメージが深まる。演奏の仕方、音源、解説等を見ることで、視覚、聴覚の両方から情報を得て主体的に深く学ぶことができる。また、その量も豊富で伴奏もついているので音の厚みを感じながら楽しみつつ、個別最適な学びを充実することができる。 日本の伝統楽器である「篠笛」「尺八」「箏」「三味線」「太鼓」が取り上げられ、基本的な内容から演奏までが扱われ、自国の文化に触れ、良さを感受できるようになっている。また、「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」と題し、他のジャンルの音楽との融合を紹介するなど、枠にとらわれず和楽器の持つ可能性を示している。和楽器を用いたアンサンブル曲や生徒が親しみやすい曲（「ふるさと」「さくらさくら」「たこたこあがれ」「ほたるこい」「タヤけこやけ」「こきりこ」など、日本の歌）が取り上げられており、我が国の伝統文化のよさを味わい、愛着を持つことができる内容になっている。 実際の楽器だけでなく、ボディーパーカッションや、楽器指定をしてない作品も掲載されており、生徒の実情に合わせたアンサンブルができるように工夫されている。二次元コードを利用することで、楽曲の模範演奏を視聴したり演奏家について調べたりすることができ、生徒が授業の枠を超えて興味・関心に基づいて主体的に学習を進めていける内容となっている。 生徒の習熟度に応じた編曲で基礎的能力の育成ができるようになっている。「春」「荒城の月」「ブルタバ」など学習した作品や、伝統的な日本の曲から身近なJ-POPやよく耳にするクラシック音楽など幅広くバランス良く取り上げられている。 【観点3】 楽譜や歌詞、説明文が大きめでわかりやすい。また、UDフォントが使用されているため音符や説明文が見やすくわかりやすい。また、適度な余白がありすっきりと見やすくまとまっている。文中の改行位置が適切である。 美しくわかりやすい写真やイラストを用いた資料が多く、イメージしやすい内容になっている。曲の配列も徐々に難度が上がるように配置されスムーズに演奏に取り組めるようになっている。リコーダーの運指が音高と同じように並んでおり、学びやすい構成となっている。学習目標、活動文、考えたいポイント等が、一目でわかるように配置されている。表紙は音楽を奏で、楽しむ様子が表現されており、主体的に音楽に親しめるように配慮されている。 多色遣いになりすぎず、淡い色で刺激が少なく見やすい。写真やイラストは美しくわかりやすく、学習する器楽によって、インデックスの色が分けられており、判別しやすい。暖色系の囲みが多く、形も工夫されていることから、視認性が高くなっている。 写真や図版資料が良い位置に配置され、楽器の奏法や形のイメージが捉えやすく、生徒の興味・関心を引き出す内容となっている。奏法の写真では、多角的に撮影されたものが多く、わかりやすい。また資料の大きさ、量ともに適切であり、すっきりとしている。シンプルなデザインで余白があるため、楽譜や文章が読みやすい。適度な余白の活用用途は多く、生徒が階名等を書き込んでも見やすい。アルトリコーダーのドレミ…の運指図が音高と同じになっている（ドが一番下になっている）ため、生徒にとって、わかりやすい。 横幅がAサイズになっており、幅広く資料や楽譜が見やすく使いやすい。また、頁数も適度な量で、持ちやすく使いやすい。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校美術		
発行者番号	38	発行者略称	光村
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 「観点項目」 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 「観点項目」 (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④作品制作の技術指導に対応している。 ⑤鑑賞の授業に対応している。 ⑥地域に根ざした日本の伝統技術について取り上げられている。 観点3 形式について 「観点項目」 (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 「みんなの工夫」をはじめ生徒の試行錯誤の様子や制作過程が詳しく示されているので「自分ならどう作りたいか」と主体的に考えられるよう工夫されている。また、すべての題材において最初に鑑賞活動が提示されており、対話を促すような問いかけが示されている。 「表現」と「鑑賞」が一つの題材の中で一体的に学べる構成になっている。また、3観点の「目標」が生徒に伝わりやすい簡潔な文章でまとめられている。また、技法の資料や、技能の動画が視聴できる二次元コードが充実しており、家で見直したり繰り返し視聴したりするなど、生徒が自ら取り組みやすい。 「〇〇教科とのつながり」というコラムが設けられており、全教科と関連されるよう設定されている。他教科での学びを意識しながら表現や鑑賞の活動ができるよう工夫されている。SDGsについても掲載されている。 谷川俊太郎氏による文章が掲載されており、身近なものの美しさや、人間が歴史の中で育んできた美しさに気づき、幅広い知識・教養に触れたり、真理を求めたりする態度の大切さを実感できるように配置されている。 【観点2】 題材ごとに「鑑賞」や「表現」の活動として作品が掲載されており、見方・考え方を深める問いかけが掲示されている。二次元コードから生徒作品の解説動画を閲覧することができ、作品についての見方を深める工夫がされている。 美術1では絵や彫刻の領域で、人・植物・風景など身近なものや、様々な素材を題材としており、デザインや工芸の領域では、美術1・美術2・3ともに、日本の地域に関連した題材や社会と関連した題材が多く扱われている。鑑賞の題材では国内外の作品が多く掲載されており、特に日本の浮世絵などの掲載作品が増え、和紙のような用紙を使用し体感的に理解しやすい工夫がされている。 各題材ごとの二次元コードには解説があり、生徒作品や動画など内容がわかりやすくなっている。デジタルコンテンツの中には線を引いて透視図法を確認できる「描き込みツール」や、三原色を画面上で混色できるものがあり、生徒が体感的に理解できるようになっている。「本物の魅力を伝える」とを大事に考えられている。デジタルコンテンツを駆使し、書き込みや解説動画、技法動画など幅広い学習方法に取り組むことができる。 別冊「資料」には3年間で必要な資料や多くの技法がまとめて掲載されており、二次元コードから技法の動画も多数閲覧することができる。美術2・3には、技法の解説に特化した二次元コードの一覧を見開きにまとめて掲載し、探しやすいように配慮されている。 各題材ごとに鑑賞できる作品が掲載されており、生徒作品や生徒のインタビュー動画などからも作品の理解が深まるようになっている。国内外の作品が幅広く掲載されているだけでなく、「ルネサンス」などの時代や画家についてわかりやすく動画で解説されている。「体感ミュージアム」という鑑賞をさらに深めることができる題材を扱っている。作家の生涯や作品を5分程度で解説した動画などが収録されている。 美術1では、国内外の伝統的な文様を多く掲載し、美術2・3では全国の伝統工芸や、地域に根ざしたデザイン、季節感を感じさせるデザインを盛り込んだ作品が多く扱われている。「地域の魅力を表すパッケージ」では地域のお土産のパッケージが掲載されており、二次元コードを読み取ると47都道府県の商品のデザインを閲覧することができ、それぞれの地域の魅力を知ることができる。 【観点3】 全体を通して読みやすさに配慮し、文字が小さくなる場合は見やすく読みまちがえにくいUDフォントが使用されている。 『みんなの工夫』が掲載されており、具体的制作過程が見え、生徒の制作の参考になる構成になっている。 作品が大きく掲載され、じっくり鑑賞することができる。内容に合わせ、紙質を変えており、生徒の興味を高める効果がある。 別冊資料があり、3年間使用でき、基本的な用具の使用手順の解説がわかりやすい。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校		保健体育
発行者番号	2	発行者略称	東書
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 《観点項目》 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 《観点項目》 (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④生徒が自ら知識や思考力を深めるために、解説動画や資料などのデジタル教材がわかりやすく補足されている。 ⑤各単元において、生徒が主体的に学習を進められるよう「単元のまとめ」や「活用して深める」項目が明確に示された内容となっている。 ⑥心身の発達や、感染症、性の多様性についての基本的な知識が明確に示され、生徒が自ら考え、実生活につなげていく内容となっている。 観点3 形式について 《観点項目》 (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無 選定理由 【観点1】 「見つける」「課題の解決」「活用する」があり、課題解決的に学習を進め、生徒の主体的・対話的で深い学びになるように工夫がされている。 「健康な生活と疾病の予防（休養と睡眠と健康・調和のとれた生活）」では日常生活に結びつく資料や発問から自身の生活と関連付けることができる。 日常生活に深く関わる資料や本文・イラストが随時に掲載されている。 「見つける」→「課題の解決」→「活用する」→「広げる」という流れで、3観点に偏りなく実現できる内容になっている。 章扉では小・高の学習内容も参考にして章の学習の概念をつかむことができるようになっている。また、二次元コードで関連する他教科の教科書ページを見られるリンクがある。 「傷害の防止」では阪神・淡路大震災の写真が掲載されており、地域の特性を踏まえた内容となっている。 【観点2】 口絵ではSDGs、テクノロジー、情報等の教科横断的な諸課題について、教科目標にある見方・考え方を働かせて考えることができるようになっている。 どの単元での事項、事象、分野においても文章での解説に加え、図やイラストでの説明があり、偏ることなく、全体として調和がとれている。 二次元コードを読み取り、動画やシミュレーションを見ることができるので、より学習を充実させることができ、生徒にとってイメージしやすくなっている。 性の多様性の資料について、二次元コードにて動画があり、視覚支援としてもとても有効でわかりやすい。また、自動車の死角を把握するため、実際のルームミラーの映像が確認できる動画が自分のタブレットで見ることができる。さらに、動画に字幕がつけられる。 単元最後に、「活用する」「広げる」で主体的にまとめやすい。章末に日常生活にどうかすか考える項目があり、自由進度で学習を進めていくことができる。単元末にSDGsにつなげられるようになっている。 「性の多様性」について、巻末資料に掲載されている。性の構成要素を示し、わかりやすく触れられている。また、梅毒等新たな感染症課題にも触れており、活用データが新しい。単元末では、SDGsにつながる視点を重要視している。 【観点3】 本文は名朝体、本文中のキーワードはゴシック体で区別されており、どれもUDフォントで読みやすく、文字の大きさも的確である。 落ち着いた色合いで、色覚の多様性に配慮されている。 見開き1ページのレイアウトが統一されており、授業の流れをつかみやすく、見やすい。また、本文と資料は罫線で区別されているため混乱しにくく、どの生徒も学習しやすくなっている。 判型、頁数ともに活用しやすい。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校 技術・家庭（技術分野）		
発行者番号	2	発行者略称	東書
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 ≪観点項目≫ (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 ≪観点項目≫ (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、課題を解決する力を養う内容になっている。 ⑤伝統技術、現在・未来の技術について関連付けて理解できる内容になっている。 ⑥学習のまとめが、学習した内容を適切に評価でき、今後の活用につながる内容になっている。 観点3 形式について ≪観点項目≫ (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 一連の学習過程の中に、主体的な調べ学習や他者と協働して検討する部分があり、まとめや発表の仕方などの学習方法が示されている。また、問題の発見の例が日常生活の中で具体的に示されており、生徒が自らの課題を考えやすく作られている。さらに、製品の工夫を読み取るようにする記述があり、製品の設計者などとの対話的な思考ができるようになっている。 教科書内でのつながりや、他教科とのつながりなどがあるページには、右ページの上に教科書内のページや内容、教科名や内容が明示されている。情報の技術で防災マップの作成について課題解決学習ができる構成になっており、安全教育の推進にも繋がる内容になっている。 【観点2】 原理と法則、問題解決、最適化に向けた課題発見など満遍なく学習できるようになっている。 教科書内に「D」マークが配置されており、関連するデジタルコンテンツを使用して学習を深めることができるようになっている。 技術の最適化を求めて、さらによりよいものにするために「技術の工夫」という資料が掲載されている。統合的な問題解決について、別章として項目立てて学習できるように工夫されている。また、ガイダンスの頁に全ての分野の伝統技術、現在の技術・未来の技術が紹介されており、どの内容も技術の進化と将来の発展が予想される内容となっている。さらに、編末資料には、社会の各分野で活躍している人の実践事例が紹介されており、技術の現在の内容が未来へと続くものであることがわかる内容となっている。 技術の進歩を知り、未来への発展的な考え方を創造できる学習ができるように工夫されている。 学習のまとめが3つの観点ごとになされておりわかりやすい。また、「まとめよう」や「振り返ろう」、「深めよう」など随所に学習したことを振り返り、自己評価がしやすいようになっている。 【観点3】 フォントやサイズの種類があまり多くないため、統一感があり、見やすい。 他教科や関連資料先が明示されており、検索しやすい。また、技術の興味など、より発展的な考え方を各ページ下の「技術の工夫」欄を見ることがができる。さらに、イラストと写真の使い分けが適切に行われており、見やすい工夫がされている。 全体的に背景色のほとんどが白になっており、文字がはっきりと見やすく、目に優しい色づかいがなされている。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校 技術・家庭（家庭分野）		
発行者番号	2	発行者略称	東書
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 「観点項目」 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 「観点項目」 (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④日本の伝統的な生活文化について、衣食住の観点から取り上げられている。 ⑤生活の中から問題を見だし、課題を設定、解決する力を育成できるように配慮されている。 ⑥学習評価を適切に行えるような工夫がされている。 観点3 形式について 「観点項目」 (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」などの活動が多く取り上げられ、生活実践に繋げながら問題解決能力が高められる工夫がされている。 プロセスを巻頭のWarm upやガイダンスで丁寧に説明するとともに、生活の中で自ら見方・考え方を働かせる内容になっている。 自立と共生を目指すために、「自分の生活チェック」や巻末の「家庭分野の学習を終えて」で自分の成長を振り返り未来の自分につなげる意欲と態度を引き出す工夫がされている。 小学校家庭や他教科とのつながりのある題材にはリンクマークが付けられており、どのページと関連があるのかに加えて、デジタルコンテンツで他教科の教科書に記載されている内容を閲覧できるようになっている。 「プロに聞く!」では、栄養士や建築士、保育士など家庭分野の学習内容に関係の深い仕事に就いている人からのメッセージ(動画)から勤労観・職業観を育むことができるよう工夫され、キャリア教育の推進につながっている。 【観点2】 中学校学習指導要領で示された、「教科・分野の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」に準拠し、必要かつ十分な内容が適切に扱われている。 373個のデジタルコンテンツがある。各ページに二次元コードが記載されており、必要な情報を容易に手に入れることができる。また、動画は右利きと左利きの両方が用意されており、生徒の手や体の巧緻性の個人差への配慮がされている。 日本や郷土に昔から伝わる衣食住を中心に具体的な例示があり、日本の伝統に誇りや愛着を持ち、継承できるよう工夫されている。 ガイダンスに問題を解決する筋道の提示、また問題解決のプロセスに沿った具体的な例が提示されており、生活の課題と実践に取り組むにあたって、無理なく実践できるように工夫されている。 「目標」に対しての、各章ごとにまとめの活動が示されており評価がしやすい。 【観点3】 書体はUDフォント、ふりがなは、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用いている。 各節は「目標」「レッツスタート」「学習課題」「本文図版」「活動」「まとめの活動」の流れで統一されており、授業の流れが見えるようになっている。 カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の生徒の状態も考え、配色とデザインについて統一感があり見やすく構成されている。 縦の流れが、見やすく学習が進めやすく構成されている。 AB判で頁数ありで、使いやすい。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校		英語
発行者番号	2	発行者略称	東書
調査研究観点			
観点1 教科共通の観点 ≪観点項目≫ (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統のかつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 ≪観点項目≫ (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④デジタル教科書として機能的であり、学習内容が充実している。 ⑤(知識・技能) 語彙や文法事項の配列において、生徒が理解しやすく、小中又は中高の連携がスムーズになるよう工夫されている。 ⑥(思考力・判断力・表現力等) 4技能、5領域(聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり、発表)、書くこと) においての活動が、バランスよく育成できるよう工夫されている。 観点3 形式について ≪観点項目≫ (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由			
【観点1】 Unit Activityのように、各学年で協働して問題解決を行う活動やグループでの発表活動が用意されており、対話的な学びの機会が担保されている。 3年生Unit6に代表されるように、英語を学ぶことで身につく見方・考え方がグローバル社会を生きる日本人に求められるコミュニケーション能力を高めることができる。 Unit→Real Life English→Stage Activityの流れを通して、知識技能の習得と活用を繰り返しながら、思考力、判断力、表現力を育成することができる。 3年生Learning Science in Englishのように、他教科との関連や、1年生Unit8のように、平和・国際理解・貢献の視点から道徳科との関連が挙げられる。 3年生Unit4では、防災についてのテーマが取り上げられており、県教育基本方針2(5) 子どもたちの安心・安全の確保の視点と合致している。 【観点2】 2・3年生のRead and Thinkにあるように、目的・場面・状況に応じて英語で意思や情報を伝える活動が設定されており、対話的な学習が可能となっている。 Unit→Real Life English→Stage Activityの流れを通して、知識技能の習得と活用を繰り返しながら、思考力、判断力、表現力を育成することができる。 二次元コードからアクセスできるコンテンツが充実しており、家庭学習においても意欲的に取り組むことができる。 本文の音声再生速度が3段階あり、進度の早い生徒やスローラーナーに対する支援のコンテンツが用意されている。Unit ActivityではSheetをタブレット上で作成できるので、発表や協働学習しやすい。文法解説動画が対話形式でわかりやすい。このような点から個別最適な学びにつながるコンテンツである。 1年生の前半内容は、小学校で扱った言語材料をもとに構成されているため、余裕を持って中学校の学習内容に取り組める。 各Unit内の読む量が充実している。Real Life Englishでは、リアルな場面設定で読むこと・聞くこと・話すことを育成することができる。 【観点3】 1年生の教科書全体にわたって、UDフォントが使用されており、視認性に優れている。 語順カードは、品詞ごとに形と色で区別されており、UDの工夫がなされている。また、各ユニットは本文→Practice→Activityの流れで一貫されており、授業の流れを構成しやすい。 色覚特性に配慮されたデザインとなっている。 書き込みができる部分や適度な余白があり、使用しやすい。			
以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校 道徳		
発行者番号	116	発行者略称	日文
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 「観点項目」 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 ②探究的な見方・考え方を働かせて学習することができる内容となっている。 ③教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 ④知識技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 ⑤系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について ⑥県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 「観点項目」 (1) 概要 ①教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 ②内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 ③ICT機器を活用して学習を充実させることができる。 (2) 教科内容 ④生徒の多角的・批判的な思考力・判断力・表現力等の発達の観点等に十分配慮した創意工夫がなされている内容となっている。 ⑤道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方について自覚を深めるような教材が盛り込まれている。 ⑥道徳ノートやふり返しシートが充実し、自己の考えを深めたり、広げたりすることができる内容となっている。 観点3 形式について 「観点項目」 (1) 内観 ①本文文字の字体や大きさ ②資料の構成 ③配色 ④レイアウト (2) 外観 ⑤判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 学校行事や発達段階に応じた教材の配列になっており、自分事として捉えやすく主体的に学ぶための工夫がされている。また、「学びを深めよう」のページでは、思考ツールなどを用いて主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がされている。 多くの人物教材にはコラムが掲載されており、本人のメッセージ動画も付属している。また、「避難所にて」では阪神淡路大震災を題材にボランティア精神の大切さを気づかせるなど豊かな心の涵養を実現する内容になっている。 「アフガニスタンの人々と共に」では、社会・外国語・総合と教科を横断して学習することができる内容になっている。また、二次元コードから専用のワークシートを使用して授業を展開することができるようになっている。 様々なグループ学習の手引きが掲載されていたり、豊かな心の育成に向けた教材が豊富であったりすることが、ひょうご教育創造プランの基本方針と合致している。 【観点2】 生徒が興味・関心を高め学習に取り組めるよう、生命の尊厳、自然保護、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な教材を盛り込んでいる。 導入、展開、終末の場面で提示できる画像や動画などの資料や心情メーターや思考ツールなどが二次元コードから読み取ることができる。 どの題材にも「自分にプラスワン」が設けられており、よりよい生き方や道徳的価値判断について、もう一度自分のことに置き換えて考える問いかけがされている。「あすへのメッセージ」では教材の主人公となった人物から中学生へのメッセージが書かれており、その人物における生き方から考えを深められるようになっている。 道徳ノートに教材ごとに学んだことや感じたことをまとめ、振り返りの際に、教材の内容と併せてその時記入したことにあらためて触れ、自身の変容を感じられる工夫がされている。 【観点3】 UDフォントが使用され、行間が広く読みやすい。 定番教材の挿絵をリニューアルし、物語の状況や登場人物の表情がよりわかりやすくなるように工夫されている。 デジタル教材で背景色の変更、リフロー機能、読み上げ、行間や文字の大きさの変更など、多様な実態に合わせた支援ができるよう工夫されている。 本文の最後にある「考えてみよう」が何をテーマに考えさせたいのか色分けされ、わかりやすい作りになっている。 以上から、令和7年度使用教科用図書として選定する。			